

2. 一包化業務の効率化と医療安全

手作業を減らし、機械化・システム化を進めることで様々なメリット

- ◆作業時間の短縮
- ◆機械的な薬剤鑑査を併用することにより、誤調剤防止
- ◆ヒューマンエラーのリスク軽減、人的作業の削減

<一包化に関するヒアリ・ハット発生要因上位抜粋>

発生要因	事例の内容		
	分包間違い (件)	調剤忘れ (件)	数量間違い (件)
確認を怠った	97	66	47
勤務状況が繁忙だった	40	23	15
通常とは異なる 心理的条件下にあった	5	6	6
判断を誤った	7	6	2
技術・手技が未熟であった	10	2	2

出典:薬局ヒアリ・ハット事例収集・分析事業
平成22年年報【4】一包化調剤に関するヒアリ・ハット 改編

動画

動画の前提条件・結果

<前提条件>

- ◆ピッキング業務、薬の取り揃えは完了された状態からスタート
- ◆分包間違いはない想定
- ◆機械化パターン
 - ・カセット数400品目対応の自動錠剤分包機を用い、コンベア(手巻き)は無し想定
 - ・錠剤監査支援システムによる監査の補助は、投影した写真を確認想定

<結果>

◆業務時間



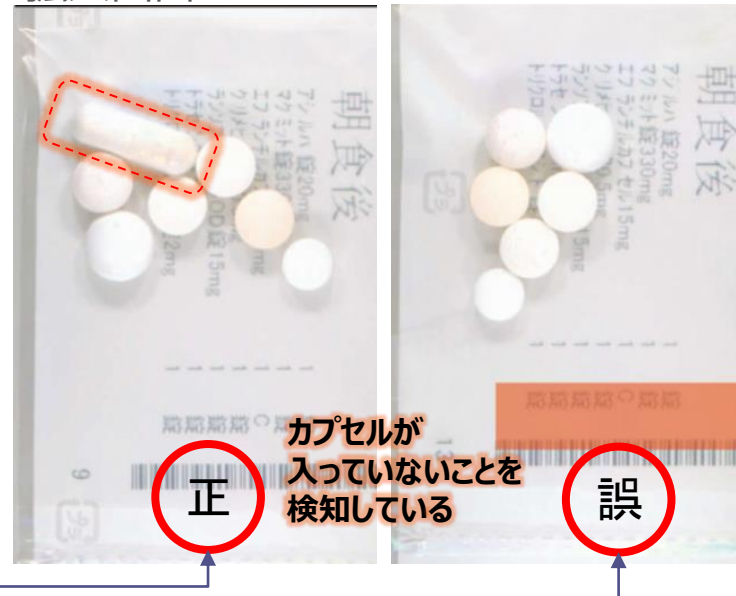
調剤業務時間が短縮された事で、対人業務・在庫管理など別業務を行う事が可能。
更に、一包化の業務を集中すると、バラ包装の購入が容易となり、
月1回のカセット充填など薬剤の取り揃え業務時間も短縮可能となる。

画像照合エラー詳細

例1) 薬品未検出 画面イメージ



拡大画面



例2) 異物混入 画面イメージ

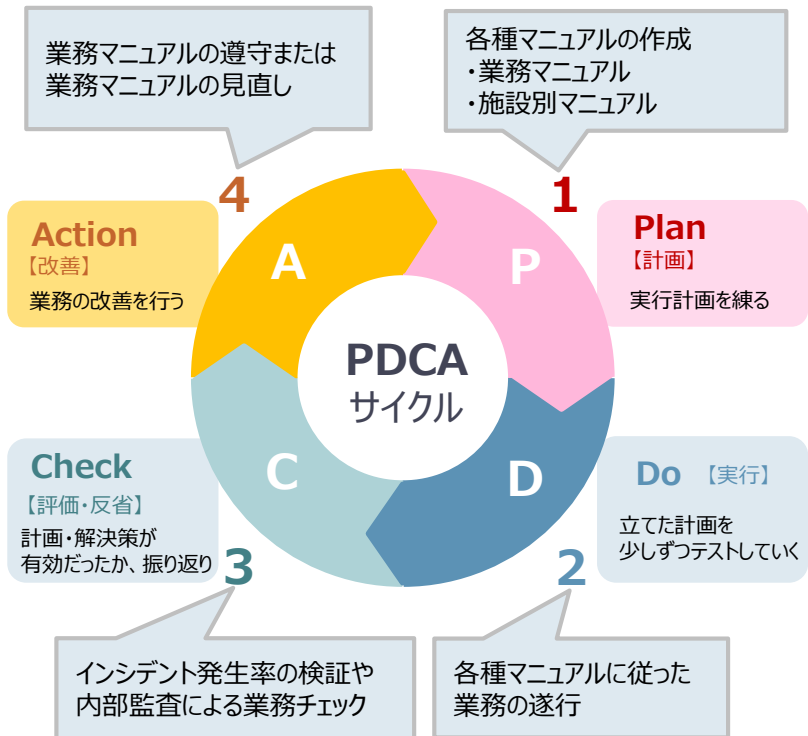


拡大画面



医療安全確保のため、単なる機械化ではなく業務の標準化が必要

外部審査認定 <ISO認証>



【調剤過誤の抑制】

手順書通りの業務を実施することで
個人ごとのスキル差や辿るべき手順の
不徹底によるミスを減らすことができる。

